

平成21年1月30日

各 位

会 社 名 株式会社 朝日ラバー
代表者の役職名 代表取締役社長 横山 林吉
(JASDAQ コード番号 5162)
問い合わせ先 常務取締役財務兼管理担当 中沢 章二
T E L 048-650-6051

経営合理化の取り組みに関するお知らせ

当社は、平成21年1月30日開催の取締役会において、下記のとおり、経営合理化策について決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 経営合理化策を実施する理由

世界経済情勢の急激な悪化は、当社の事業分野である自動車業界や情報通信業界に波及し、先行き見通しも厳しい状況が続くものと予想されます。当社の収益も想定以上に悪化しているため、現在の事業環境に対応していくためには、一層の経営合理化により収益力を強化することが不可欠であると判断し、以下の施策の実施を決定いたしました。

2. 経営合理化策の内容

(1) 役員等報酬の減額(平成21年3月度まで)

- ・代表取締役社長を含む全ての取締役の月額報酬額の50%を減額します。
- ・監査役より申し出があり全ての監査役の月額報酬額の30%を自主返上します。

(2) ワークシェアリング及び従業員給与等の減額支給(平成21年2月1日～3月31日)

正社員、準社員 において業務を分担するワークシェアリングを実施し、当社の一日の所定労働時間を現行7.5時間から5時間として、従来給与の70%を支給します。

- ・特殊技能が必要な部署で量産対応が必要な部署については、一日の所定労働時間を現行どおり7.5時間として、従来どおりの給与を支給します。また、一部の準社員は一日の所定労働時間を6時間として、従来給与の80%を支給します。
- ・工場の生産グループを中心に、交替で一日当たり55名を自宅待機として、一日につき平均賃金の60%の休業手当を支給します。

準社員とは、一年間の範囲内で会社と雇用契約を結ぶ期間契約社員です。

3. 今後の見通し

今回の経営合理化策の実施により約4千万円の費用削減を見込んでおりますが、この効果を反映した平成21年3月期業績予想につきましては、現在精査中であり、確定次第速やかにお知らせいたします。

以 上